常任理事会だより

山川智之

本稿では，前号で報告後平成24年11月30日，12月21日，平成25年1月25日，2月22日に開催された計4回の常任理事会の内容のうち主なものをお伝えするとともに，日本透析医会の主な活動についてご報告します．

1. 次期診療報酬改定についての要望

平成26年度の診療報酬改定に向けて，日本透析医会として，1月25日，山崎会長，杉崎専務理事，山川，太田常務理事が厚生労働省保険局医療課を訪問し，医会としての現在の透析医療と問題点をまとめた「わが国の透析医療の現況（2013年1月）」を提出し，我々の認識と要望についてご説明させていただきました．特に通院困難に伴う長期入院透析患者の問題については，かなり長時間にわたり議論させていただき，ある程度問題共有はできた感触です．平成26年度の診療報酬改定は，社会保障費圧縮への圧力は強く，透析医療費についても，大変厳しい状況になると考えております．さまざまな方策で透析医療の質とアクセスを守っていく所存です．

2. 日本透析医会公募研究助成

日本透析医会は，例年腎臓病，腎不全医療研究者に対する公募研究助成を行っております．平成24年度の公募研究助成については，22件の応募があり，昨年10月26日開催の研究助成審査委員会において，厳正，慎重に審査した結果，16課題に対し総額23,700,000円を助成することといたしました．詳細はホームページに掲載しております．

3. 「東日本大震災と透析医療～透析医療者奮闘の記録～」の発行

平成24年12月，日本透析医会雑誌の別冊として，「東日本大震災と透析医療～透析医療者奮闘の記録～」を発行しました．日本透析医会雑誌は2011年8月の26巻2号以降，東日本大震災における透析医療の対応について数々の論文を掲載して参りました．この冊子は以後2012年8月発刊の27巻2号まで，計4号に掲載した関連論文30編をまとめたものです．東日本大震災の記録として，今後の透析医療の災害対策における基礎資料として，末永く役にたつものになることを望みます．

日本透析医会常務理事

4. 日本透析医会研修セミナー・総会について

日本透析医会では，平成 25 年 5 月 19 日（日）に日本透析医会総会と同時開催で，東京・品川コクヨホールにて研修セミナーを開催します．総会とあわせ多数の会員の参加をお待ちしております．また平成 25 年 10 月 20 日（日）には，大阪での開催を予定しております．詳細につきましては，本誌および医会ホームページにてご案内させて頂きますのでよろしくお願いします．